

北風に 言葉うばはれ 麦踏みり 加藤 楸邨

冷たい北風のふきすさぶ麦畑で、父と子が、もくもくと麦踏みをしています。たまに言葉をかわしても、強い風に吹き飛ばされて、聞き取れません。そこで、二人とも口をかたくむすんで、ただもくもくと麦をふみつづけています。寒さの厳しい中にも、親子がともに精をだしている。親子のきずなも感じます。

11月も行事の多い月でした。地域の幼稚園、小中学校、高等学校そして女性コーラスグループの演奏や歌による“ふれあいコンサート”。また、校内ではふれあい文化旬間、アルソックホールでの心を伝えると多彩で内容も濃いものでした。実りの多い季節、冬休みまで後一月足らず、後期中間テストも間近にせまり、授業や家庭学習での集中力が問われる時期になりました。寒気の強まる中、これから乗り越える厳しい冬に対しての気構えも自然と備わってきています。

伝統をつなぐ「心を伝える 群読と合唱」

安佐中学校には素晴らしいコーラス・群読の伝統が受け継がれてきています。そして、今年も自分たちの夢や希望を、悩みや思いを群読と合唱に託して「心を伝える」という表現活動で発表しました。学級で詩を書き、それを群読と合唱で聴き手にどう伝えるか。国語科や音楽科の学習を基礎に、各学級で工夫をし、練習を重ねてきました。



去る11月9日、アルソックホールでその発表を行いました。体育祭が終わって以来、各学級の文化委員を中心に案を練り、試し、これで本当に聴き手に思いが伝わるか課題をさがし、修正を重ねました。

群読は、よく練られた詩とリズムと抑揚は聴く者に訴えたいものが伝わりました。そして、よく鍛えられた合唱は心をうちました。ひたむきな努力が、一人ひとりのその持てる力の全てを出し切り、観る者、聴く者に感動を伝えてくれました。優劣を超えた尊い宝物を生徒たちは得たことと思います。

全国マーチングコンテストで吹奏楽部 銀賞を受賞

本校吹奏楽部が、11月21日(日)に大阪城ホールで開催された全国マーチングバンドコンテストに中国地区を代表して出場し銀賞を受賞、見事なチームワークをみせ、多くの観衆に感動を与えてくれました。見る力を十分に発揮した見事な演技だったと思います。